

エラスムス・ムンドゥス ユーロカルチャー・プログラム修士課程

2020-22



ヨーロッパ各地の大学に留学してみませんか？

豊富なカリキュラムを通じ、現代ヨーロッパの文化・社会・政治について、
EU 圏内の複数大学で多角的に学べるプログラムです。

応募書類提出先：文学研究国際連携室

応募締切：2019 年 10 月 30 日(水)17:00

お問い合わせ先：文学研究科国際連携室

06-6850-6409 inter@let.osaka-u.ac.jp



選考の流れ

インターネット申請画面

応募者は、エラスムス・ムンドゥス ユーロカルチャープログラム（Erasmus Mundus Master of Arts EUROCULTURE）のホームページから各自、入力します。

（*2020-22 への申請画面は 10 月中頃公表予定。Submit 直前の最終確認ページを印刷して提出）

書類・面接審査

大阪大学文学研究科教員による書類・面接審査後、推薦を受けた応募者は、ユーロカルチャープログラム運営委員会による書類審査を受けます（Skype 面接が課されることもあります）

合否の決定

2 月頃に合否が決まります。

大阪大学文学研究科は、Euroculture Programme コンソーシアム参加校です

「ユーロカルチャー修士課程」（Erasmus Mundus Master of Arts EUROCULTURE）では、次頁の 12 大学がコンソーシアムを構成しています。

ユーロカルチャー修士課程に入学すると、次頁の EU 圏内 8 大学のうち 2 つの大学で 2 年間学び（阪大からの EU 圏外 3 大学の選択は不可）、課程を修了すれば Master of Arts の学位が与えられます。また、第 II セメスターの終りの 6 月には 8 大学のいずれかにおいて、後述の集中セミナー（IP: Intensive Programme）が開催されます。

授業は原則として英語で行われることになっていますが、デウスト大学・ウーディネ大学・ストラズブル大学ではそれぞれスペイン語・イタリア語・フランス語で指導が行われる場合もあります。詳しくは、以下の公式 HP を参照してください。

www.euroculturemaster.eu

学生はまず EU 圏内 8 大学のいずれかに登録します。ユーロカルチャー修士課程には、研究コース（Research Track）、そして専門職コース（Professional Track）の 2 つのコースがあります。いずれも 2 年間 4 セメスター制からなり、期間中に 120ECTS（単位）を取得します。第 II セメスターと第 III セメスターの間に、「集中セミナー（IP）」が行われます。これは、ユーロカルチャー修士課程の全学生と、多数の教授が参加する 10 日間の国際セミナーで、毎年 EU 圏内 8 大学のいずれかを会場にして開催されます。

なお、本課程修了生の多くは、EU 諸機関や NGO といった国際機関のほか、外交、教育、文化行政、出版・報道など多様な分野において活躍しています。また、博士後期課程へと進学し、さらに専門性を高めようとする修了生も少なくありません。

ECTS について

ECTS: The European Credit Transfer and Accumulation System（単位互換積算制度）

ヨーロッパ単位互換積算制度とは、プログラムの目標達成に必要な学習量にもとづく、学生本位の単位システム（Student-Centred System）です。フルタイムの学生が 1 学年の間に修得する総単位を 60 単位とする、という原理に基づいています。また、Eurocompetence とは、ユーロカルチャーの学生に自らの職業生活を準備させ、専門職の分野での就職可能性を高めることを目的とする、ユーロカルチャー独自の学際的な単位科目です。その学習内容は、プロジェ

クトに関連した特別なケース・スタディとグループワークによって、学問的スキルと専門職の分野での知識を統合することに注意を向けさせるものです。具体的には、(I) 課程の修了に必要なとされる様々な主要能力の訓練、(II) グループ・プロジェクトの実行を通じた、多文化コミュニケーション能力の訓練、そして (III) 個々のプロジェクトへの応用、から成っています。(I)、(II) にはそれぞれ 5ECTS、(III) には 10ECTS が配当されます。

EU 圏内 8 大学 (8 European Institutions)



グローニンゲン大学(オランダ 1614-) *コンソーシアム事務局

Rijksuniversiteit Groningen / University of Groningen

ゲッティンゲン大学(ドイツ 1737-)

Georg-August-Universität Göttingen / University of Göttingen

デウスト大学(スペイン 1886-)

Universidad de Deusto / University of Deusto

ウーディネ大学(イタリア 1978-)

Università di Udine / University of Udine

ヤギェウォ大学(ポーランド 1364-)

Uniwersytet Jagielloński w Krakowie / Jagiellonian University in Krakow

パツキー大学(チェコ 1573-)

Univerzita Palackého v Olomouci / Palacký University in Olomouc

ウプサラ大学(スウェーデン 1477-)

Uppsala Universitet / Uppsala University

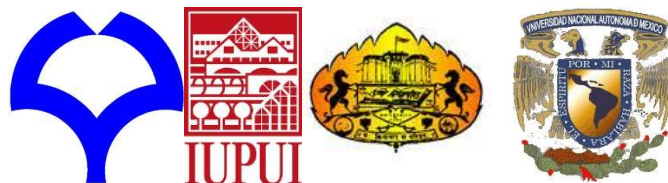
ストラスブール大学(フランス 1621-)

Université de Strasbourg / University of Strasbourg

留学中の宿舎について

留学中の宿舎については、当該大学の学生寮を使用できる場合もありますが、そうでない場合、各自で探す必要があります。学生寮の使用の可否に関しては、留学先の大学に問い合わせてください。

EU 圏外 4 大学 (Third Country Partner Institutions)



大阪大学(日本 1931-)

Osaka University

インディアナ大学・パーデュー大学インディアナポリス(アメリカ合衆国 1969-)

Indiana University Purdue University Indianapolis

プーネ大学(インド 1949-)

University of Pune

メキシコ国立自治大学(メキシコ 1910-)

Universidad Nacional Autónoma de México / National Autonomous University of Mexico

EU とエラスムス計画

欧州連合(European Union: EU)では同連合加盟各国の大学間で大規模な人的交流を進めています。これを「エラスムス計画」(Erasmus Programme)と称します。この計画は欧州共同体(European Community: EC)によって1987年に開始され、The European Region Action Scheme for the Mobility of University Students の略から ERASMUS と命名されたとされています。ムンドゥス Mundus とはラテン語の「世界、宇宙」を表す語です。エラスムス計画にこの語を添えた「エラスムス・ムンドゥス・プログラム」(Erasmus Mundus Programme)とは、欧州連合内の各大学と欧州連合外の諸大学との人的交流を図る、いわば「エラスムス計画・世界版」です。この計画のもとに、欧州連合内の様々な大学がチーム(コンソーシアムと呼ばれます)を組み、多くの「エラスムス・ムンドゥス修士課程」(Erasmus Mundus Master Programme)が提供されています。

ユーロカルチャー学位取得までの流れ

第Ⅰセメスター(9月～1月) 30 ECTS [滞在先はEU圏内の登録大学(1st University)]

EU圏内8大学のいずれにおいても、共通の入門科目として主要科目(Core Courses)及びEurocompetence科目が開講されています。10月頃に第Ⅱセメスターの受入れ大学を決定します。

- Core Concepts of European Society, Politics and Culture (25)
- Eurocompetence I (5)

第Ⅱセメスター(3月～6月) 25 ECTS [滞在先はEU圏内の別の大学(2nd University)]

この期間は、事前に専門分野に応じて選択した2つ目の大学に滞在します。Eurocompetence科目はどの大学でも継続されます(5ECTS)。修士論文の作成を開始します。

- Eurocompetence II (5)
- Methodology & Theory Seminar (10)
- Research Seminar (10)

集中セミナー(6月) 5 ECTS [EU圏内8大学のうちのいずれかで実施]

集中セミナー(Intensive Seminar Programme: IP)では10日間にわたって、第Ⅰ・第Ⅱセメスターで学習したことを主題に、学術的・社会的観点から研究発表・討論が行われます。

- IP Participation (5)

第Ⅲセメスター(9月～12月) 30 ECTS [滞在先は1st University 又は 2nd University]

このセメスターで、学生は更に文化・社会・政治などに関する研究を深めます。研究コースの学生は研究セミナー(25ECTS)を受講し、専門職コースの学生はインターンシップ(25ECTS)に従事します。また、セメスター終了時には修士論文のアウトラインを提出します(5ECTS)。

- Research Seminar/Internship^[1] (25) [注1] 研究コースの学生は研究セミナーを受講。専門職コースの学生はインターンシップ。
- Thesis Outline/Proposal (5)

第Ⅳセメスター(2月～6月) 30 ECTS [滞在先は1st University 又は 2nd University]

最後のEurocompetence科目(5ECTS)を履修します。また、6月1日までに修士論文(25ECTS)のファイナルドラフトを指導教員に提出し、指導教員のコメントを基に8月1日までに完成させます。

- Eurocompetence III (5)
- Master Thesis (25)

学位の取得

ユーロカルチャー修士課程に参加し、必要な単位(120 ECTS)を修得した学生は、1st University と 2nd University の両方から修士号(Master of Arts)を受けることができます。

留学期間中の単位の互換

ユーロカルチャー修士課程に参加して留学する場合、大阪大学文学研究科の大学院生は本学の単位認定制度を利用することができます。ユーロカルチャー修士課程で履修した単位を、大阪大学文学研究科では所定の手続きを経た上で10単位まで修了要件単位として換算することが可能です。詳しくは文学研究科教務係に留学前に相談して下さい。他研究科に所属する学生は各自の研究科に問い合わせして下さい。